



# 国際医療リスクマネジメント学会

## チーム医療安全研修会・2018

(第4回)

### 主催者の挨拶

今や医療行為を優れた一人の医療者で語ることは困難であり、多職種の能力を結集して優れた医療チームを作り上げる必要性に疑問の余地はない。優れたチームには優れたリーダーが欠かせないが、「リーダー＝管理職」という認識、「管理する」という発想だけでは有機的なチームの構築は困難である。「リーダー」の概念の本質は職種、役割ではなく「リーダーシップ」すなわち組織を率いる能力であるが、効果的な組織となるためには、さらに自発的にサポートする「フォロワーシップ」が極めて重要である。Robert Kelley によると組織が出す結果に対して「リーダー」が及ぼす影響力は1-2割であるのに対し、「フォロワー」が及ぼす影響力は8-9割にものぼるとされている。本研修では、チーム医療におけるリーダー/フォロワーの意義を探るとともに、リーダー/フォロワーの最新の理論を医療現場に翻訳していく過程を共有したい。

なお、医療安全文化の更なる向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全推進者が不可欠です。そこで、2015年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定の「高度医療安全推進者」資格制度、「高度医薬品安全推進者」資格制度ならびに学会認定の「高度看護安全推進者」資格制度を開始しました。本プログラムはこの3種類の認定資格取得における必須科目でもあります。

本研修会により、あなたの医療機関におけるチーム医療での安全文化が構築でき、患者・家族により信頼され、納得される医療を構築します。

2018年9月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長、日本医療安全学会理事長)

辰巳 陽一 (近畿大学医学部付属病院医療安全管理部部長、教授)

主催者一同